

するよう要請。

この件、本議会に於て継続審議扱となる。

10・7 機関誌「桜川」7号発行。

10・10 自然を守る会だより第4号発行

環境庁へ請願書、署名簿提出。当会代表7名が環境庁を訪れ、茨城県一、二、三区選出の衆参議員16名（自民11、社会4、無1）の紹介のもとに、毛利環境庁長官に提出。長官及び水質保全局長たちと会談し、市民の水に対する強い不安を訴えました。

11・10 自然を守る会だより第5号発行

11・17 自然観察会。朝もやをついて、土浦橋のたもと道祖神に集まり、桜川堤を通って穴塚の大池まで探訪いたしました。水海道自然友の会の木村信之先生、五木田悦郎先生が道々野草の説明をして下さり、楽しくみのり豊かな半日でした。

市役所都市計画課からも2名参加し、桜川の自然公園化予定地の説明。今後の見直しなどをお聞きしました。桜川の自然公園化につきましては昭和47年9月27日一万四千八百名の署名簿を添えて県に陳情、実現のはこびとなつたものです。（桜川3号参照）

11・21

本会が提出した「霞ヶ浦の水質浄化に関する請願書・署名簿」が県議会本会議最終日に継続審査扱となる（詳細は本文）更に議員任期の切れる1月7日をもって自然消滅となる。

12・7

自然科学教室開催、図書館友の会共催。社会教育センターに於て。茨大、高村義親先生の霞ヶ浦の総量規制について、水海道自然友の会、木村信之先生の万葉の植物のお話と美しい野花のライド。出席者約30名。

12・21

去る12月15日の県議選にあたり、土浦選挙区の候補者八名に対して四項目の公開質問を行い、その回答を投票日まで市民に公開する計画でありましたが、県選挙管理委員会から、期間中の広報活動は差し控えてほしいとの申し入れがあり、一時配布を見合わせておりましたが、選挙後であつても、今後の議員の活動を見守るという意味をこめて回答文のパンフレットを駅前で配布。配布数六〇〇部

50・1・16 自然を守る会だより第6号発行

2・24 参議院社会党の生活環境対策プロジェクトチームが霞ヶ浦調査団を結成。その第一次調査のため来浦、「霞ヶ浦問題」について当会の意見を